

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	3
法人事業報告	4
デイ・センター事業報告	8
メイトウ・ワークス	9
天白ワークス	15
はまなす	21
グループ・ホーム事業報告	26
こいけホーム	27
天白ホーム	28

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の知的障害者ケアと、知的障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は知的障害者エンパワーメントの理念のもと、名古屋市東部地域において、知的障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）生命の安全と健康

- ・命を最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別エンパワーメント計画（IEP）にもとづいた処遇

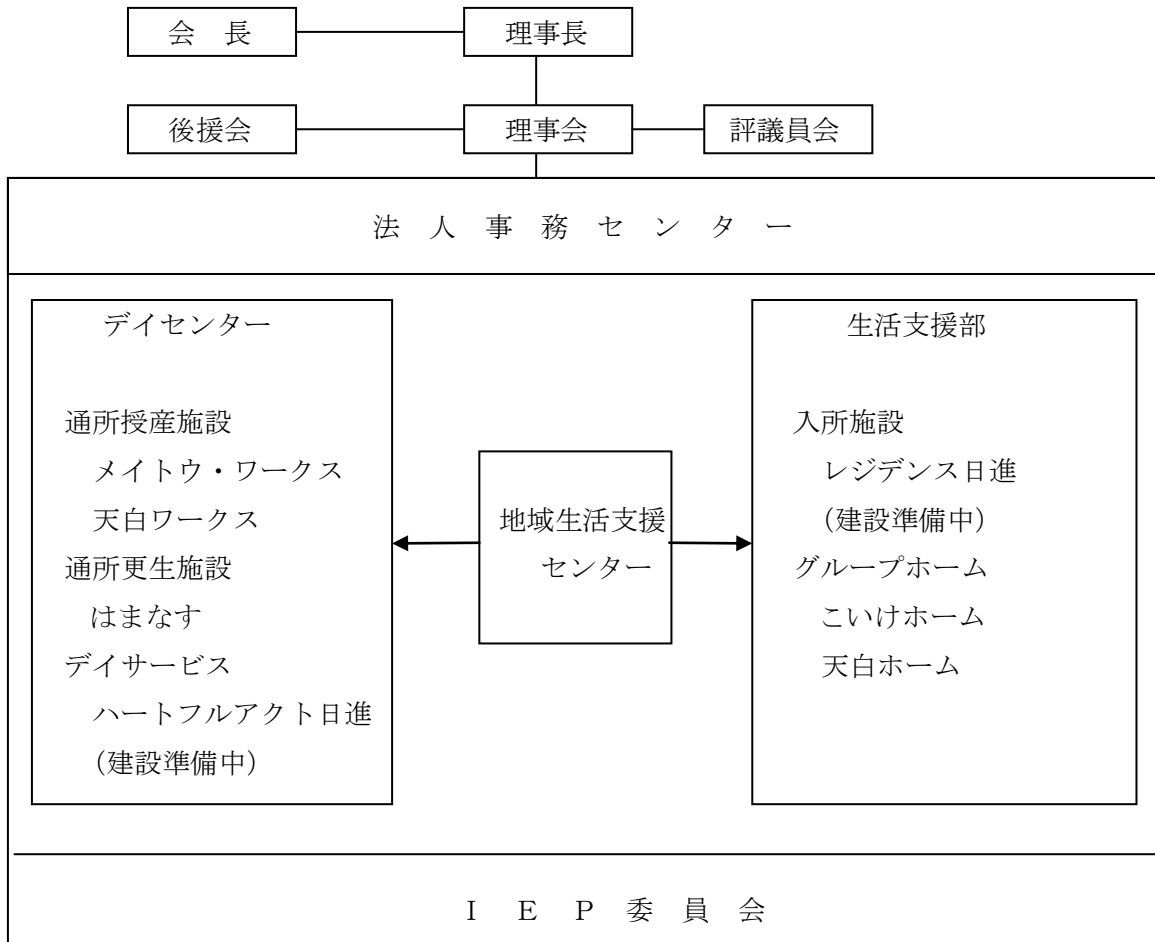
- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要なIEPを立案する。
- ・個別福祉サービス計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・知的障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別福祉サービスを決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・IEPによって設定された目標の達成度を常にチェックする。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成 計42名（兼務1名）

職名	会長	理事長	施設長	事務員	指導員	調理員
常勤	1	1	3	3	男10 女10	3
非常勤					男6 女2	3

法人事業報告

1. 法人事務センター

法人内事務の集中管理を目的として、本年度に設置した。

平成15年度からの新会計システムへの移行を控え、その準備を開始した。

*決算報告はP.29参照

2. 生活支援部

利用者の「暮らし」の部分を検討する機関。特に法人が所有する2ヶ所のグループホーム運営の調整・改善を目的とする。

今年度は、グループホーム職員の異動もあり、利用者の生活リズムの安定に着目し、落ち着いた雰囲気づくりの検討をおこなった。

3. 施設開発部

知的障害者入所更生施設「レジデンス日進」等（日進市浅田上納）の建設準備事業を進めた。

- 6 / 20 日進市とヒアリング
- 7 / 9 愛知県とヒアリング
- 9 / 8 野方地区役員会にて説明（於 野方公民館）
- 9 / 9 三ツ池公園委員会にて説明（於 野方公民館・参加者30名）
- 9 / 23 第1回住民説明会（於 三ツ池公園集会所・参加者9名）
- 9 / 30 第2回住民説明会（於 野方公民館・参加者14名）
- 11 / 3 第3回住民説明会（於 野方公民館・参加者5名）
- 11 / 10 法人会長・家族会員3名が地区役員宅27軒を訪問・説明
- 1 / 21 国より15%予算削減の連絡があり、全ての予算を見直す
- 3 / 5 日進市議会へ陳情書提出
- 3 / 26 日進市議会 通過

4. IEP委員会

IEPとはIndividualized Empowerment Planの略で、本人の自己決定を尊重した個別処遇計画である。本人またはその家族のニーズを反映させた目標設定の下、処遇計画を立案することが特徴となる。

IEP委員会は

- ①入所選考（ニーズの診断）および面接診断のチェック
- ②各事業所におけるIEPの適切性についての内部監査
- ③目標達成度の判定
- ④（法人内外を問わず）他の施設への利用異動時のチェック
- ⑤IEPツールの標準化作業

を目的とする法人内処遇チェック機関で、本年度に設置した。

本年度は、入所選考（2件）と利用異動チェック（1件）を行った。また、ケース記録や年間目標・評価記録など I E P ツールの標準化についての検討を開始した。

5. 「レジデンス日進」プログラム研究チーム

法人が建設予定の知的障害者入所更正施設「レジデンス日進」のソフト研究機関。5名のメンバーで定期開催（第2・4火曜日）。

今年度は、「レジデンス日進」が利用者のグループホーム移行を目的とすることを視野に入れ、グループホームのあり方を中心に研究をおこなった。

6. リスク・マネージメント

利用者個々のニーズに最大限応える上で、事故防止のための取り組みは必要不可欠となるという認識に立ち、本年度、法人内にリスク・マネージャーを1名配置し、リスク・マネージメント業務を開始した。

事故防止マニュアルの作成を目的として「ヒヤリ・ハット体験報告書」の提出を全職員に依頼し、リスク・データの収集、分析に努めた。また、事故報告による対応管理に努めた。

平成 13 年 6 月 苦情解決実施規程施行
苦情申出窓口設置
苦情処理第三者委員を福祉サービス苦情相談センター
(名古屋市社会福祉協議会) に委託

平成 14 年 1 月 リスクマネージャー専任
ヒヤリ・ハット運動開始
事故対応マニュアルの作成準備

7. 機関紙「WORKS」の発行

法人機関紙「WORKS」を季刊。毎号800部を、利用者・職員・後援会員・関係団体等に配布した。

NO.	発行月	テーマ
84	7月	名東福祉会の改革「地域生活支援を福祉サービスの核に」
85	11月	リスクマネージメント
86	1月	知的障害者福祉と高齢者福祉のドッキング時代
87	3月	知的障害者の駆け込み寺「障害者地域支援センター」

8. 法人行事

- (1) 第14回 藤まつり <4/22(日)・於 天白ワークス>

模擬店、イベント、寄贈品バザー、授産製品の展示販売等を行い、地域交流を図った。

総収入	1,011,848 円
出店団体数	9 団体
参加ボランティア数	80 名

- (2) 第14回 合同運動会 <7/7(土)・於 名東スポーツセンター>

法人利用者や家族、職員約200名が参加。施設対抗による各種競技やバンド演奏、全参加者によるエアロビクスなどを内容として実施。

- (3) 社会福祉法人名東福祉会設立20周年 感謝のつどい

<8/10(金)・於 名古屋サンプラザ ブリックホール>

法人設立20周年を記念し、関係者265名の参加を得てパーティーを開催。併せて、各施設の活動にご協力いただいているボランティアの方々の表彰を行った。

- (4) 第19回 やきものまつり <11/11(日)・於 メイトウ・ワークス>

模擬店、イベント、寄贈品バザー、授産製品の展示販売を行い、地域交流を図った。

総収入	1,562,247 円
出店団体数	11 団体
参加ボランティア数	94 名

9. 後援会

法人の事業運営への賛同、支援を目的とした組織。

7/24(火) 名古屋市障害者スポーツセンターにて平成13年度総会を開催した。

総会員数	104 名
家族会会員	84 名
その他の会員	20 名

デイ・センター事業報告

メイトウ・ワークス

1. 所在

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL (052) 702-2863

FAX (052) 701-2079

e-mail m-works@se.starcats.ne.jp

2. 利用者の状況 (定員 37名)

(1) 障害の程度

	重度		中度	軽度	計
	~IQ20	IQ21~35	IQ36~50	IQ51~75	
男	10	3	6		19
女	13	4	1		18
計	23	7	7		37

(2) 障害の種別

	自閉症	ダウン症	脳性麻痺	知的障害	計
男	5	2	2	10	19
女	5	3	4	6	18
計	10	5	6	16	37

*「自閉症」には「自閉的傾向」も含む

(3) 年齢

	~19歳	20~29	30~39	40~49	50~59	60歳~	計
男		11	7	1			19
女	1	9	7	1			18
計	1	20	14	2			37

3. 職員構成

職種	施設長	事務員	指導員	調理員	医師	計
常勤	1	1	8	1		11
非常勤			3	1	1	5
計	1	1	11	2	1	16

4. 日常プログラム

(1) 作業プログラム

陶芸作業

オリジナルの製品（箸おき、マグネット、一輪挿しなどの小物中心）や注文製品を製作。各地の福祉の店やバザーにて製品を販売。

販売機会を増やし、売上の向上を目指して成果を得た。

縫製作業

オリジナル製品（ぬいぐるみ）を製作。各地の福祉の店やバザーにて製品を販売。施設への直接注文も多い。

生産性の向上を目指し、専門ボランティアの活用、参加利用者の拡大を目指し、成果を得た。

軽作業

水道管部品の組立や垂鉛部品のバリ取りなどの下請作業を実施。

安定したプログラム提供を目指し、作業工程を見直し、参加利用者を拡大した。

洗剤詰め作業

台所用液体洗剤の容器詰めやラベル貼りを内容とした下請作業を実施。能力給の支給を目的として、利用者の希望に応じて提供。

能力給の増額を目指し、併用作業の開拓を行った。

年間売上状況

	売上高（前年度）	
陶芸	1,559,900 円	(1,048,660 円)
縫製	804,480 円	(506,590 円)
下請	379,263 円	(520,580 円)
その他	570,350 円	(634,763 円)
計	3,313,993 円	(2,710,593 円)

工賃支給

基本給 100 円／日を出席日数に応じて毎月支給。ただし、洗剤詰め作業参加者のみ、出来高を能力給として上乗せ支給。

(2) 散歩プログラム

小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して実施。公園での散策やドライブ、公共交通機関の利用など内容は様々で、活動メンバーの好みに応

じて企画。

利用者からの高い参加希望に対応できるよう、改善を重ねた。

(3) レクリエーションプログラム

毎週金曜日の午後に定期的実施。

クラブ活動

利用者の選択によるグループ活動。1年間継続して実施。

積極参加を促すため、選択方法の改善、ボランティア活用による個別対応に留意し、成果を得た。

グループ名	回数/年	内容等
バスケットボール	17	障害者スポーツセンターにて技術練習・試合
音楽・ダンス	17	ワークス内にて、練習の成果を地域の方々に発表
創作	17	ワークス内にて、Tシャツ・タイル絵など製作
軽スポーツ	17	緑地公園・スポーツセンターでのウォーキング

外部団体の公演

公演団体との事前打合せや、公演後の話し合いを通して、充実したものとなった。

団体名	実施日	内容等
天白リバーバンド	4/20	オリジナル曲の演奏など
ゆうなの木	5/11	童謡など中心としたコーラス
ポケットの会	7/6・12/25	絵本・歌・ペープサートなど
めいとう朗読グループ	9/7・2/1	絵本・歌・ペープサートなど

季節行事・その他

七夕(7/6)・クリスマス(12/25)・節分(2/1)

おやつ作り(3/8・15)

(4) 重度身体障害を伴う利用者のプログラム

2名の利用者を対象に、動作法・音楽鑑賞・地域散策など実施。

毎日の活動を記録し、メニューのバランスを考慮した。

5. 諸活動・年間行事

(1) バスハイク

全員参加の屋外活動。年2回実施。

ボランティアの積極活用により、個別対応に努めた。

実施日	行き先	備考
5/16(水)	豊橋総合動植物園	弁当持参
9/19(水)	博物館明治村	現地にて夕食

(2) グループハイク

小グループによる屋外活動。利用者の選択した行き先に基づき、グループ分けを行った。1人1回ずつ、年9回に分けて実施。欠席者等には代替企画を実施（1回）。

小グループの利点を活かし、個別希望に添った活動ができた。

実施日	行き先・企画内容	利用者数（職員数）
4/10（火）	内海方面・公共交通機関を利用	3（2）
6/19（火）	マイカル桑名・カラオケ/ボーリング	4（2）
7/3（火）	長島スパランド・遊園地	3（2）
7/19（木）	浜松市動物園	4（2）
8/7（火）	下呂温泉 水明館	4（3）
9/27（木）	犬山モンキーパーク・遊園地	4（3）
10/23（火）	リトルワールド・公共交通機関を利用	2（2）
3/6（水）	浜松方面・いちご狩り	5（3）
3/14（木）	天白公園・バーベキュー	4（3）
10/9（火）	アイモール三好・代替企画	1（1）
3/28（木）	南知多ビーチランド・代替企画	2（2）

(3) 一泊旅行

2グループに分けて実施。費用は利用者負担（25,000円）。

参加利用者の状況に合わせて行き先、行程を分けた。

実施日	行き先
5/31（木）・6/1（金）	三保の松原泊（アミューズメント施設・博物館）
10/11（木）・12（金）	琵琶湖温泉泊（博物館・クルージング）

(4) プール活動

4月中旬～10月初旬にかけて実施。

月別希望制により、利用者の求める参加時期、回数に応えることができた。

活動場所	回数
障害者スポーツセンター内プール	32
香流橋プール	5
日進運動公園内プール	5
計	42

(5) フットベースボール大会

愛知県知的障害者福祉協会・名古屋市の主催により、11/6（火）鶴舞公園陸上競技場にて実施された大会に参加。

勝敗を意識した競技を通じて、施設間・利用者間の交流を図ることができた。

(6) 御用納めパーティー

12/27（木）利用者の忘年会行事として実施。

(7) 成人式

1 / 15 (火) 1名の新成人のお祝いの会を実施。

(8) あおぞら号

名東自動車図書館「あおぞら号」を利用。メイトウ・ワークスが地域の駐車ポイントとなっており、地域交流の機会ともなっている。年9回実施された。

6. 食事提供

施設内厨房にて、利用者・職員・ボランティアの昼食を調理し、提供している。

(1) 嗜好の反映

全利用者を対象に嗜好調査を実施し、メニューへの反映を心がけた。
月2回、選択メニューを取り入れた。

(2) 健康への配慮

本人や家族からの要望に応じて、随時、食事量の調整を行った。

(3) 提供状況の評価・改善

職員による給食会議や検品表の記入を通して、食事内容や提供方法の個別評価を行い、充実した食事提供に努めた。

7. 地域交流

(1) ボランティア受け入れ状況

利用者ひとりひとりのニーズに応じたサービスの提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。日常プログラムから各行事にいたるまで、必要に応じて適切なサポートを受けることができた。特に、サポートの必要な縫製作業については、専門ボランティアの募集を開始した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日常プログラム	54	55	68	60	28	37
行事等		8		16	3	10
計	54	63	68	76	31	47

10月	11月	12月	1月	2月	3月
55	27	27	35	46	30
	97				
55	124	27	35	46	30

＊「行事等」

- 5月 バスハイク
- 7月 法人合同運動会
- 8月 サマーボランティア
- 9月 バスハイク
- 11月 フットベースボール大会・やきものまつり

(2) ボランティア情報誌「ハローネットワーク」発行状況

ボランティアを募集すること、またメイトウ・ワークスの活動を地域の方々に知っていただくことを目的として隔月発行。併せて、公共施設などへポスターの掲示も行った。

特に、縫製作業ボランティアの募集に重点を置き、手芸品店舗へポスター掲示を拡大した。

配布先	配布場所（人）数	配布部数	ポスター数
来所ボランティア	46	46	
町内会	4	86	
公共施設	4	81	2
各種店舗	6	30	7
学校	7		9
その他		45	
計	67	288	18

(3) 施設開放状況

地域に開かれた施設を目指し、土日祝日や夜間などに施設の開放を行っている。近隣の子ども会や老人クラブ、町内会などが主に利用。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
借用件数	5	2	3	2	2	5

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	3	2	3	2	9	42

(4) その他

- ・法人所有バスの福祉関係団体への提供
- ・名古屋市厚生院 陶芸教室への講師派遣
- ・地域療育相談事業
- ・中学校からの職場体験、大学や専門学校からの現場実習等受け入れ

天白ワークス

1. 所在

〒468-0023

名古屋市天白区御前場町327番地

TEL (052) 804-5487

FAX (052) 804-5416

e-mail t-works@se.starcat.ne.jp

2. 利用者の状況 (定員 35名)

(1) 障害の程度

	重度		中度	軽度	計
	~IQ20	IQ21~35	IQ36~50	IQ51~75	
男	9	8	3	1	21
女	4	9	1		14
計	13	17	4	1	35

(2) 障害の種別

	自閉症	ダウン症	知的障害	計
男	15	2	4	21
女	4	1	9	14
計	19	3	13	35

(3) 年齢

	~19歳	20~29	30~39	40~49	50~59	60歳~	計
男		5	13	3			21
女		4	5	4		1	14
計		9	18	7		1	35

3. 職員構成

職種	施設長	事務員	指導員	調理員	医師	計
常勤	1	1	7	1		10
非常勤			3	1	1	5
計	1	1	10	2	1	15

4. 日常プログラム

(1) 作業プログラム

陶芸プログラム

食卓を彩る「器」を中心に制作。工程は単純で分かりやすい提示を心がけており、利用者のつくりたい物を優先した「選択」も取り入れた展開をしている。土を触るところから制作、釉掛けまでの幅のあるプログラムの為、多くの方が利用。

クッキープログラム

生地をつくるところから、焼成、袋づめまですべての工程を1日で終わられるシンプルでわかりやすいプログラム。その日つくる生地や型を選んだり、きれいな色のリボンをかけたりして楽しいお菓子づくりを提供している。

製パンプログラム

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と菜種油を原料にしたこだわりのパン。安心して安全なパンとして、近隣の保育園や老人ホームの給食としても、ご好評いただいている。

天白ワークス別棟の製パン室で、毎日、生産に励んでいる。

下請け

利用者にとって行程のはっきりしたわかりやすい作業としての位置づけを目的とし、自動車部品のゴムパッキン型抜き仕上げ、金属ワッシャーの加工準備、NTT再生電話磨きを提供している。

年間売上状況

	売上高 (前年度)
陶芸	586,710 円 (460,730 円)
クッキー	976,071 円 (860,440 円)
製パン	2,398,538 円 (2,565,546 円)
下請け	274,333 円 (367,752 円)
その他	172,785 円 (269,800 円)
計	4,408,437 円 (4,156,516 円)

工賃支給

基本給 100 円／日を出席日数に応じて毎月支給。ただし、利用者の希望により、特定の作業プログラムへの参加により、能力給を支給。

(2) 散歩プログラム

その日の天候にも左右されるが、徒歩か車を利用して外出。利用者の気分転換が目的であるが、健康維持・地域とのふれあいも兼ねている。

水、木曜日の午後には、「選択」として散歩プログラムを提供している。

(3) プログラム別研修

陶芸

出展した作品等の鑑賞のため6月にフロール展を見学。

クッキー

パッケージとりボンのラッピング研究のため4月4日（水）名古屋駅方面タカシマヤなど、6月フロール展を見学。

軽作業プログラム

新規プログラムの開拓を目的として6月14日（木）内海フォレストパーク、11月20日（火）香嵐渓・稲武どんぐりの湯に出かけた。

散歩

午前散歩チームの行き先拡大を目的とし、プラネタリウム観賞、芋掘り企画を実施。

5. 諸活動・年間行事

(1) バスハイク

通常活動とは異なるイベントプログラムによる利用者のリフレッシュを目的として第4金曜日、年6回実施。行き先はニーズに応じて2コースを設定。

弁当持参で、移動手段は、マイクロバス、公共交通機関などを利用。3月には、ボランティアさんにできるだけ参加して頂くことを目的として、愛知牧場にてバーベキューをおこなった。

実施日	行き先A	行き先B
4月27日(金)	岡崎東公園	東山公園
5月25日(金)	岐阜百年公園	戸田川こどもランド
9月28日(金)	カルチャービレッジ	南知多ビーチランド
10月26日(金)	多度芋ほり園・木曾三川公園	リトルワールド
11月30日(金)	定光寺	香嵐溪
3月22日(金)	愛知牧場	

(2) 一泊旅行

楽しむことを追求したリフレッシュプログラム。利用者個別の希望をより充実させることができるよう少人数で小回りのきく旅行を今年度は企画した。

実施日	行き先
9月19日(水)～ 9月20日(木)	大阪：難波花月と海遊館
	長野：駒ヶ岳ロープウェーとりんご狩り
	静岡：富士田貫湖とガリバー王国
10月10日(水)～ 10月11日(木)	長野：白馬五竜・小遠見山登山
	福井：恐竜博物館と芝政ワールド
	静岡：富士田貫湖とサファリパーク

(3) プール活動

季節感のあるレクリエーションをゆったりと楽しんでいただけるように、名東スポーツセンターを利用し時期を6～7月に設定。1人1回の提供であるが、回を重ねる毎に水と戯れて過ごせる方も出てきた。体調などによりプール活動を利用しない場合は、代替に卓球を提示。

(4) ボランティアパーティー

年に一度、日ごろ天白ワークスで活躍されているボランティアさんに集まっているだけで、利用者また他のボランティアグループの皆さんとの交流を図るため、ゲーム等をして交流会を開いている。

(5) 家族交流会

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的とし、招待ボランティア4名を含めて2月5日(火)に西浦温泉にて実施。

6. 食事提供

施設内厨房にて、毎日利用者・職員・ボランティアの昼食を調理し、提供している。各利用者ごとに盛りきり方式で提供しているが、適温での提供を目指し、テーブルごとにおひつ（ご飯）や小鍋（汁物）を用意し、入場してから必要な量を盛るように配慮。また、個々のニーズ（健康上の理由・好き嫌いの理由）に合わせ、分量や刻み方に工夫している。

選択メニューなども導入し、利用者の好みを反映するようにしている。

7. 地域交流

(1) ボランティアの受け入れ

日常プログラムの参加を中心に、利用者との関わりはもとより、より多くの人に認知してもらえるように門戸を広げ、気軽に楽しく参加していただけるように心がけている。現在では、長期にわたって継続して参加される方が増えている。

・日常プログラム参加

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	17	17	15	17	14	12

10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	17	17	15	19	19

・ヘア・カットボランティア

レイナ美容室の方を中心に2～3名で月に一回出張していただいている。

- ・「藤まつり」(4月) 参加者：69名
- ・夏期高校生ボランティア（中部善意銀行）：1名
- ・サマーボランティアスクール（天白区社会福祉協議会）：11名
- ・東海学園大学の学生が随時参加

(2) 陶芸教室

- ・出張陶芸教室：特別養護老人ホーム極楽苑へ利用者とともに出かけに行き陶芸を開き交流をはかっている(年間11回)。
- ・地域陶芸教室：土の子クラブ(年金受給者のグループ活動)は月2回天白ワークスを陶芸教室として利用されている。その他地域の子ども会も不定期に利用いただいている。

(3) その他

- ・地域療育相談事業
- ・市内中学校「職場体験実習」の受け入れ：30名
植田中（2）、城山中（6）、滝ノ水中（7）
田光中（5）、天白中（5）、日比野中（5）
- ・東海学園大学「人間共生論」ゼミ：19名
- ・名古屋外国語大学「教員免許特例法による介護等体験」：6名

はまなす

1. 所在

〒465-0054

名古屋市名東区高針台1-911

TEL (052) 704-7551

FAX (052) 704-7552

e-mail hamanasu@se.starcat.ne.jp

2. 利用者の状況（定員 30名：地域協定による定員 20名）

(1) 障害の程度

	重度		中度	軽度	計
	~IQ20	IQ21~35	IQ36~50	IQ51~75	
男	5	9	1		15
女	3	2			5
計	8	11	1		20

(2) 障害の種別

	自閉症	ダウン症	脳性麻痺	知的障害	計
男	6	3	1	5	15
女		2	2	1	5
計	6	5	3	6	20

*「自閉症」には「自閉的傾向」も含む

(3) 年齢

	~19歳	20~29	30~39	40~49	50~59	60歳~	計
男	1	8	6				15
女		5					5
計	1	13	6				20

3. 職員構成

職種	施設長	事務員	指導員	調理員	医師	計
常勤	1	1	4	1		7
非常勤			2	1	1	4
計	1	1	6	2	1	11

4. 日常プログラム

(1) 作業プログラム

ゴム作業

各種パッキンの枠はがし、袋詰めをする作業。

マスク袋詰め作業

各種マスクの検品、袋詰めをする下請け作業。

クッキー作業

自主製品。施設内にて型抜き、焼成、袋詰めなどを行う。

年間売上状況

	売上高（前年度）
下請け	196,123 円 (277,300 円)
クッキー	141,535 円 (170,845 円)
計	337,658 円 (448,145 円)

(2) 散歩プログラム

小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して実施。

公園での散策やショッピング、文化施設の利用など内容は様々で、活動メンバーの好みに応じて企画。

<活動場所>

公 園			
洲原公園	5 6	豊田スポーツセンター	5
鞍が池公園	3 5	平戸橋いこいの家	5
県緑化センター	2 8	岩屋堂	5
春日井緑化センター	2 4	貴船公園	5
昭和の森	2 3	愛知牧場	3
大府みどり公園	1 8	色金山歴史公園	3
大針中央公園	1 8	城山公園	3
東谷山フルーツパーク	1 2	於大公園	3
牧野が池	1 2	鶴舞公園	3
落合公園	1 0	名古屋城	2
小幡緑地公園	1 0	名城公園	2
愛知健康の森	8	大高緑地公園	2
青少年公園	8	定光寺	2
豊田市緑化センター	8	日進運動公園	2
東谷山	6	岩津天神	2
かさはら潮見の森	6	知立神社	
東山動植物公園	6	松平東照宮	
名古屋市農業センター	6	二村山	

大蔵池公園	6	豊田スタジアム	
森林公園	6	猿投神社	
豊田運動公園	5	熱田神宮	
ショッピングセンター		文化施設	
アピタ長久手	3 3	スカイワード旭	2 5
ジャスコ三好	2 4	豊田地域文化広場	2 2
ジャスコ守山	1 5	豊田消防本部	5
ダイエー名古屋東	1 3	鞍が池トヨタ博物館	4
アピタ緑	6	名古屋港水族館	3
イトーヨーカドー尾張旭	6	市スポーツ振興会館	2
アピタ守山	3	豊明消防署	2
イトーヨーカドー緑	3	アサヒビール工場	
三越星が丘店	2	知立民族博物館	
西友高針店		レトロ電車博物館	
メイトピア など		など	

(3) レクリエーションプログラム

名東図書館	年 2 2 回	2 週間に 1 回、図書館を利用
プール活動	年 2 7 回	週 1 回、自閉症の方を中心に障害者スポーツセンターを利用
バスケットボール	年 7 回	障害者スポーツセンター体育室を利用
フロール展・出展	年 1 回	絵画・陶芸品の出展
陶芸	年 1 回	メイトウ・ワークス利用
あおぞら号	年 1 0 回	名東自動車図書館「あおぞら号」利用
カラオケ	年 5 回	小グループにて最寄のカラオケ店を利用

5. 諸活動・年間行事

(1) バスハイク

全員参加の屋外活動、年 6 回実施。

実施日	行き先
4 / 6 (金)	浜松フラワーパーク
5 / 18 (金)	花フェスタ記念公園
6 / 8 (金)	岐阜ファミリーパーク
9 / 28 (金)	愛知こどもの国
10 / 26 (金)	犬山市野外活動センター
3 / 8 (金)	イチゴ狩・浜松市動物園

(2) 一泊旅行

5グループに分かれて、それぞれ行き先・活動など利用者の希望を取り入れる。
費用は利用者負担(20,000円以内)。

実施日	行き先	宿泊先	利用者数 (職員数)
6 / 21 (木) ～ 22 (金)	諏訪大社・オルゴール館 他	ホテル山王閣 (諏訪)	4 (3)
7 / 18 (木) ～ 19 (金)	アクティブ越前・ 松島水族館 他	ホテル清風荘 (芦原)	4 (2)
9 / 6 (木) ～ 7 (金)	ユニバーサルスタジオ・ 海遊館 他	アピオ大阪 (大阪)	3 (3)
9 / 20 (木) ～ 21 (金)	太秦映画村・琵琶湖汽船 他	雄山荘 (京都)	4 (2)
10 / 18 (木) ～ 19 (金)	加賀戦国時代村・芝政 他	はいや松風苑 (芦原)	4 (3)

(3) グループハイク (テーブルマナー)

4グループに分かれ、外食を目的とし、それぞれの行き先・活動など利用者の希望を取り入れる。

実施日	行き先	利用者数 (職員数)
11 / 22 (木)	犬山リトルワールド	5 (3)
11 / 30 (金)	岐阜川島河川環境楽園	5 (3)
12 / 6 (木)	「白鳥の湯」・カラオケ「シダックス」	3 (3)
12 / 14 (金)	瑞浪地球回廊・「たかさごの湯」	5 (3)

(4) 年末パーティー

12 / 27 (木) 利用者の忘年会として施設内にて実施。

(5) 合同新年会・成人式

1 / 18 (金) 家族会と合同行事で、豊橋シーパレスリゾートにて食事会を行う。
第2部として、午後から新成人(1名)のお祝い会を実施。

(6) プール活動

7月中旬から8月下旬にかけて、全員を対象に実施。日進運動公園内プールもしくは障害者スポーツセンターのプールを利用する。

6. 食事提供

施設内厨房にて利用者・職員の昼食を調理し、適温での提供を心がけている。

- ・利用者個々に合わせた食事量の提供に努めている。
- ・重度身体障害を伴う利用者には、きざみ食を提供している。
- ・月1回、選択メニューを実施している。
- ・何種類かのドレッシングから、味付けが選択できる。

グループ・ホーム事業報告

こいけホーム

1. 所在

〒465-0047

名古屋市名東区小池町468-1

TEL/FAX (052) 777-8385

2. 入居者の状況

4名（女性）

3. 職員の状況

常勤1名（常直）

4. 生活モデル

時間	平日
6:00am 7:30am～	起床 出勤 施設・企業など
5:00～6:30pm 6:30pm	帰宅 夕食 入浴 就寝

5. 職員の役割

(1) 利用者の生活サポート

直接援助／コミュニケーション／利用者間のコーディネート

(2) ハウスキーピング

(3) 地域情報の窓口

6. その他

(1) 建物状況

賃貸物件・鉄筋コンクリート造3階建マンション（2階部分使用）・昭和62年築

(2) 運営開始年月日

平成11年 4月 1日

天白ホーム

1. 所在

〒468-0021

名古屋市天白区平針字大根ヶ越141-3

TEL/FAX (052) 807-1578

2. 入居者の状況

4名（男性）

3. 職員の状況

常勤1名（常直）・非常勤2名（宿直）

4. 生活モデル

時間	平日	時間	休日
6:00am 8:15am～	起床・朝食 出勤 施設	7:30am 12:30pm	起床・朝食 ホームで過ごす 昼食
4:30pm 6:00pm	帰宅 夕食 入浴 就寝	6:00 p m	ホームで過ごす 夕食 入浴 就寝

5. 職員の役割

(1) 利用者の生活サポート

直接援助／コミュニケーション／利用者間のコーディネート

(2) ハウスキーピング

(3) 地域情報の窓口

6. その他

(1) 建物状況

賃貸物件・純木造2階建（5DK）・昭和39年築

(2) 運営開始年月日

平成13年 3月 1日